

第2回木更津市中心市街地（木更津駅周辺）まちづくりワークショップ 記録書

- ◆日時：平成31年2月16日（土） 14:00～16:00
- ◆会場：木更津市立中央公民館（スパークルシティ6階） 第7会議室
- ◆主催：木更津市中心市街地活性化協議会
- ◆参加者：高校生 7名（木更津高校、木更津東高校）
 公募 1名
 中心市街地子育て世代 5名（木更津第一小学校PTA、木更津第一中学校
 PTA）
 中心市街地外子育て世代等4名（市民活動団体）
 合計 17名
 日本大学生産工学部建築工学科 教授 1名（ファシリテーター）
 日本大学生産工学部建築工学科 学生12名（ワークショップ運営補助）

【概要】

渡辺市長よりあいさつの後

3グループに分かれ、ワークショップをおこなった。

◎ワークショップ内容

ファシリテーター：日本大学生産工学部建築工学科 教授 北野 幸樹

運営補助：日本大学生産工学部建築工学科 学生12名

グループA：高校生7名（木更津高校、木更津東高校）

グループB：中心市街地在住5名（木更津第一小学校PTA、木更津第一中学校PTA）

グループC：中心市街地外在住5名（公募、市民活動団体）

◆第1回木更津市中心市街地（木更津駅周辺）まちづくりワークショップ報告

前回のテーマ

- ・木更津市 Quiz
- ・たからもの・欲しいもののマップを描こう！
- ・ここに行きたいランキング！
- ・こんなことしたいランキング！

出てきたキーワード

- : つながる 回遊 リンケージ
- : ベイサイド 歩く 遊ぶ ランニング ウォーキング
富士見通り商店街（西口）
- : 自然 たぬき 放課後 勉強 友達 ひと 時間
- : 公共施設：どんな？ どこに？

キャッチフレーズ

- ・〇〇（活動）することができる場所づくり・・・拠点 ⇒活動・空間のデザイン
- ・学校でまちでみんなと一緒に・・・参加しよう ⇒参加のデザイン
- ・優しく楽しく過ごす時間のデザイン・・・ライトアップ ⇒時間のデザイン
(ひとが浮かび上がるように)
- ・クリエイティブで未来志向は発想を・・・つづけよう ⇒継続から未来へのデザイン

『かがやく きさらづ』

木更津 中心市街地に求められる「〇〇〇づくり」とは！？

- ⇒にぎわいづくり・・・魅力ある・行きたくなるお店（商店街）
- ⇒楽しみづくり・・・心地よい・お気に入りのスポット
- ⇒時間（回遊・界限）づくり・・・ゆっくり・ゆったり過ごす
- ⇒暮らし（暮らし方）づくり・・・生き生きと愛着のある暮らし（定住志向）

◆テーマ1：木更津 中心市街地PR (Public Relations) マップ=未来予想図を描こう！

あなたが 木更津 中心市街地 を 経営・運営するなら

・・・あなたは「木更津 中心市街地 長 (マネージャー)」です！

あなたが 木更津 中心市街地 を みんなに宣伝するなら

・・・あなたは「まちの広報ディレクター」です！！

木更津市 中心市街地に求められている「〇〇〇づくり」を描いてみると！？

⇒にぎわいづくり・・・魅力ある・行きたくなるお店 (商店街)

⇒楽しみづくり・・・心地よい・お気に入りのスポット

⇒時間 (回遊・界限) づくり・・・ゆっくり・ゆったり過ごす

⇒暮らし (暮らし方) づくり・・・生き生きと愛着のある暮らし (定住志向)

Phase 01：すぐに、します・・・今年のこと

Phase 02：ちょっと先に、します・・・1年後のこと

Phase 03：少し未来に、します・・・5年後のこと

◆テーマ2：プロモーション (宣伝)・オペレーション (運営) 戦略チームをつくろう！

木更津 中心市街地 PR (Public Relations) マップ

=未来予想図 を実現するには！？

だれが どのように 計画し つくり 運営し 宣伝し リレーし・・・実現するには！？

◆各グループ発表

◆各グループ発表内容の抜粋

グループ A : 高校生 7 名 (木更津高校、木更津東高校)

◆テーマ 1 : 木更津 中心市街地 P R (Public Relations) マップ=未来予想図を描こう !

Phase 01 : すぐに、します 今年のこと

- ・ 駅前にかわいくわかりやすい観光案内の看板を設置する。

Phase 02 : ちょっと先に、します . . . 1 年後のこと

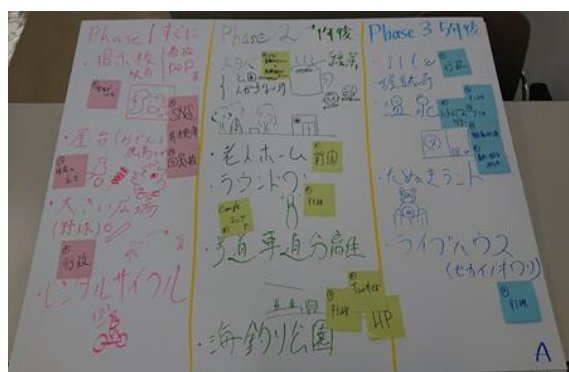
- ・ 太田山を利用して、若者に人気のスターバックスコーヒーを作り、お年寄りも利用できるランニング・ウォーキングコースをつくる。

Phase 03 : 少し未来に、します 5 年後のこと

- ・ 銭湯をつくる。
- ・ ライブハウスをつくる。
- ・ 證誠寺の近くに「たぬき〜ランド」をつくる。
- ・ 夜暗い地域によしもと劇場をつくり、お笑いで賑やかにする。

◆テーマ 2 : プロモーション (宣伝) ・オペレーション (運営) 戦略チームをつくろう !

- ・ 旅行代理店などの民間事業者や、学生、行政と協力し運営していく
- ・ SNS、グーグルマップに登録、広報きさらづ、回覧板等で中心市街地の宣伝をする。
- ・ 木更津駅だけでなく、千葉駅など人が多い駅 P R ポスターを掲示する。



グループB：中心市街地在住5名（木更津第一小学校PTA、木更津第一中学校PTA）

◆テーマ1：木更津 中心市街地PR（Public Relations）マップ=未来予想図を描こう！

Phase 01：すぐに、します・・・今年のこと

- ・ 駅の中にインフォメーションセンターをつくり、市民協働でおススメスポットなどの情報を提供する。
- ・ 富士見通りを活性化させる為、空き店舗を行政が買い取り、新しいお店や、公園をつくる。
- ・ スナックなどを裏通りに集める。

Phase 02：ちょっと先に、します・・・1年後のこと

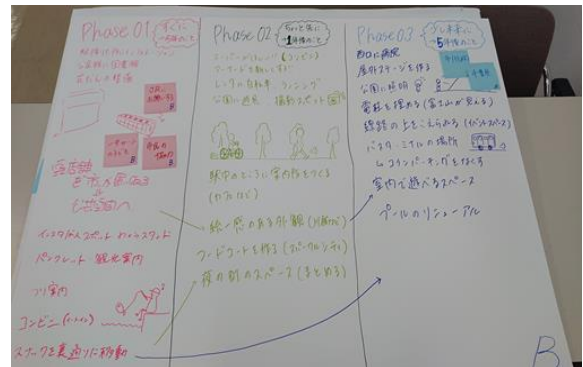
- ・ スパークルシティに、図書館、広い自習室、スーパやカフェ、フードコートを入れ、1日過ごせる施設にする。
- ・ 公園の新設や、公園設備を充実させる。
- ・ ランニングコースをつくる。
- ・ 出島に屋外ステージをつくる。

Phase 03：少し未来に、します・・・5年後のこと

- ・ 景観を良くするため、電柱の地中化をする。
- ・ 東口に大きなバスターミナルを作り、バス路線を集約する。

◆テーマ2：プロモーション（宣伝）・オペレーション（運営）戦略チームをつくろう！

- ・ JRなどの民間事業者や、地元住民、地元の小中学生、行政と協力し運営する。
- ・ 木更津の中心市街地に、朝に富士山が綺麗に見えるストリート、昼に賑わうストリート、夜に賑わうストリートをつくり、1日中賑わいのあるまちづくりをおこなう。
- ・ 統一感のあるまちづくりをおこなう。



グループC：中心市街地外在住5名（公募、市民活動団体）

◆テーマ1：木更津 中心市街地PR（Public Relations）マップ＝未来予想図を描こう

Phase 01：すぐに、します・・・今年のこと

- ・オリンピックに向けて、宿泊施設を誘致する、パブリックビューイングが出来る施設をつくる。
- ・無料駐車場もしくは、安い駐車場をつくる。

Phase 02：ちょっと先に、します・・・1年後のこと

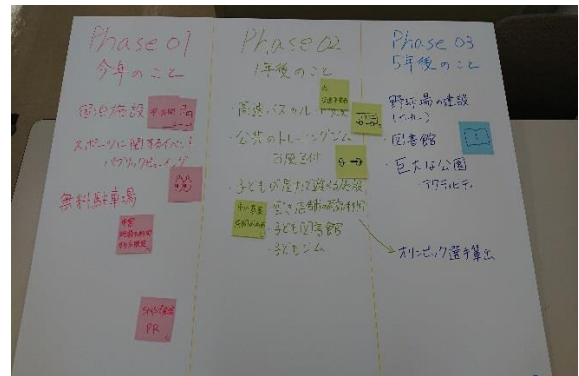
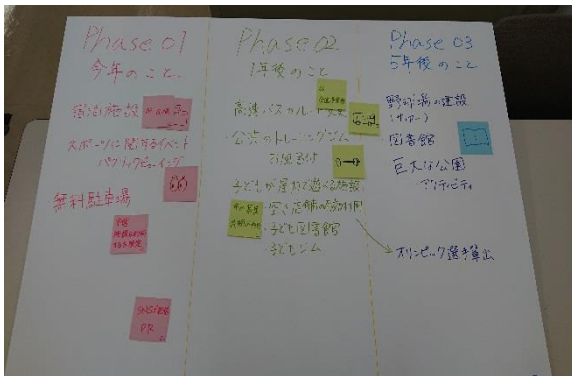
- ・お風呂付の公共のトレーニングジムをつくる。
- ・子供が屋内で遊べる施設や、子ども図書館、子どもジムなどをつくる。

Phase 03：少し未来に、します・・・5年後のこと

- ・野球（サッカー）場をつくる。
- ・巨大な公園をつくる。
- ・綺麗で、大きい図書館をつくる。

◆テーマ2：プロモーション（宣伝）・オペレーション（運営）戦略チームをつくろう！

- ・行政と民間で協力し運営する。
- ・SNSで木更津市を宣伝する。
- ・子育てしやすいまちづくりをおこなう。



◎ワークショップまとめ

ファシリテーター北野教授よりワークショップ内容がまとめられた。

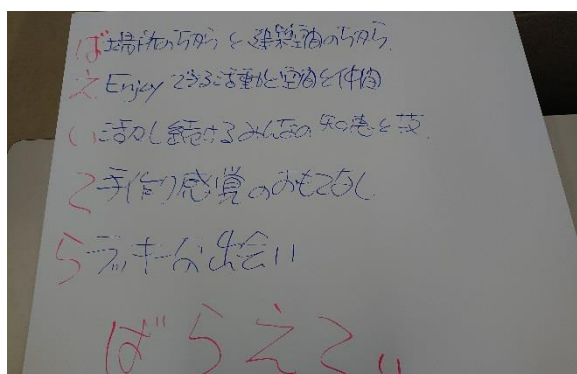
今回の共通事項として、看板やインフォメーションセンターなどの情報の発信、レンタサイクルやランニングコース整備などの健康に関すること、スポーツなどを通じての仲間づくり、空き店舗の活用、スパークルシティを活躍させるなどの駅前空間活用、電柱の地中化などの木更津のポテンシャルを生かした景観づくりなどがあげられる。

まちづくりについては、回覧板等で顔と顔を合わせて情報共有する親密な関係も大事。

◆2回のワークショップを通じて出てきた概念として

- ・ば「場所のちからと建築のちから」
- ・え「Enjoyできる活動と空間と仲間」
- ・い「活々し続けるみんなの知恵と技」
- ・て「手作り感覚でのおもてなし」
- ・ら「ラッキーな出会い」

頭文字を並びかえると『バラエティ』



◆概念を具体的に実現していくためには

- ・地域、環境、自然、居住者みんなで共生・**共存**・共栄=Coexistence
 - ・中心市街地に多様な**活動**の受け皿をつくること=Activity
 - ・ユニバーサルデザイン（バリアフリー）な空間づくり
運営していく**責任**（良心）を持つこと=Responsibility
 - ・健康であり活力があり、問題を**エネルギー**に変えて**楽しむこと**=Energy & Enjoy
- 頭文字を並べると『CARE』

みんなが「関心」を持つこと

大丈夫か「心配」しながら次のステップへ

自分勝手ではうまく行かない、人任せではうまく行かない「配慮」していくこと

『心配り（CARE）』が大切となる。

多種多様な『バラエティ』にとんだ皆様の意見を、楽しみながら活動して、『心配り』を持って取り組んでいくことが、これからのまちづくりのキーワードになっていく。

